

令和3年 第2回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和3年2月17日(水)

開会 13時30分

閉会 14時55分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 大 島 淳 光

〃 木 村 陽 子

〃 長 澤 裕 子

〃 櫻 吉 啓 介

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局	教育次長(兼)学校教育部長	加 藤 弘 行
	教育総務課長	堀 場 喜一郎
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	松 田 潤一郎
	担当部長(兼)学校職員課長	羽 場 政 彦
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	田 村 創
	担当部長(兼)学校指導課長	寺 井 義 春
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	青 山 雅 幸
	市立工業高校事務局長	新 出 光 昭
	生涯学習部長	中 坂 暢 江
	生涯学習課長	村 田 英 彦
	(兼)長土堀青少年交流センター所長	
	キゴ山ふれあい研修センター所長	直 江 義 弘
	図書館総務課長	池 田 光 穂
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)近世史料館長、城北分館長	
	教育プラザ総括施設長	松 本 季 之
	(兼)地域教育センター所長	
	学校教育センター所長	熊 谷 有 紀 子
	歴史都市推進課長	石 浦 裕 治
	(兼)町家保全活用室長	

5 案 件

議案第2号 令和3年度 金沢市教職員研修の基本方針(案)について (教育プラザ)

- 議案第 3 号 金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
(歴史都市推進課)
- 非 議案第 4 号 金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
(歴史都市推進課)
- 非 議案第 5 号 令和 2 年度金沢市議会 3 月定例会議会提出予定案件について
(教育総務課他)
- 報告第 4 号 金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果(令和 2 年度 1 0 ～ 1 2 月分)について
(学校職員課)
- 報告第 5 号 「金沢市宇宙教育推進計画 2 0 2 1」の策定について
(生涯学習課)
- そ の 他
(1) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者 5 名について協議し、傍聴を許可した。次に、議事録署名委員に大島委員を指名した。本日の議題について野口教育長が議案第 4 号および議案第 5 号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第 2 号、議案第 3 号、報告第 4 号、報告第 5 号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、3 月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第 4 号および議案第 5 号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 3 月の定例会議の日程：令和 3 年 3 月 2 5 日(木) 1 3 : 3 0 ~

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 議案第 2 号 令和 3 年度金沢市教職員研修の基本方針(案)について(教育プラザ)

(説明の概要) 議案書 3 ページ。基本方針の前に、本年度の教職員研修の状況について簡単に報告する。本年度の教職員研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、法定研修である初任者研修および中堅教諭等資質向上研修を優先しながら、当初計画の 1 5 0 講座から精選し、9 5 講座を実施した。実施した講座については時間短縮や会場の分散を行ったほか、ICT を活用し、先生方がプラザに集合して、講師は大学からライブ配信で実施する形、あるいは先生方が集合せず、各学校においてライブ配信やオンデマンド配信で研修する形で実施した。延べ受講者数は(2)の表のとおりである。集合し対面で行った研修についても、初任者研修等ではデジタル共有サイト「ミライシード・ラボ」に研修資料を掲載し、事前学習や繰り返し学習ができるよう工夫した。

「ミライシード・ラボ」の活用状況に関しては、今年度は先生方が校内で研修を行ったり、個々のスキルアップに取り組んだりできるよう、資料をさらに充実し、オンデマンド研修等を行った結果、全ての学校にご活用いただいた。各学校でオンライン研修を受講した先生からは、「何度でも繰り返し視聴でき、しっかりと理解が深まった」とのご意見を多く頂いた。

議案書 2 ページ。本年度の実施状況を踏まえ、令和 3 年度の基本方針についてお諮りする。

「1 金沢市教職員研修の基本的な考え方」としては、学校を取り巻く諸課題に対応できる豊かな専門性、幅広い社会性、実践的指導力等、教職員に求められる資質・能力と金沢型学習スタイルに基づく授業を実現する指導力の育成を目指す教職員研修を実施する。

「2 令和 3 年度金沢市教職員研修の重点」では、(1)～(5)の 5 項目を重点として取り組

むことを考えている。(2)にあるように、若手教員を育成するために、校内研修等で活用できる研修資料や研修動画、指導案等を「ミライシード・ラボ」に掲載しているが、さらに充実を図る。

(4)に関しては、1人1台の端末が整備され、GIGAスクール構想を確実なものとするために、校内で推進していくリーダーを対象とした研修や先生方個々のニーズに応じた研修の充実を図る。(5)に関しては、教職員が本務に専念するための時間を確保するため、研修講座の内容、実施時間や形態等を見直し、今年度新たに取り組んだ非集合型のオンライン研修やオンデマンド配信による研修を取り入れながら、引き続き教職員や学校のニーズに応じた研修の充実を図る。

大島委員

コロナ禍ということで、いろいろと工夫を凝らした研修を実施されているのではないかと思います。資料の中で、「対面」と「オンライン(集合)」、「オンライン(非集合)」と記載があるのですが、オンラインでの集合というのはどういったイメージなのでしょう。

熊谷学校教育センター所長

オンラインでの集合というのは、先生方には教育プラザの研修会場に集まっていただくのですが、講師の先生は大学の研究室等から配信していただく形式です。実際に講師の先生はそこにいらっしゃらないのですが、映像を通してやりとりができます。

櫻吉委員

今年度はコロナ対策としてオンラインの開催になったと思うのですが、今後コロナが収まってからも、このようなオンラインの研修会は継続する予定でしょうか。

熊谷学校教育センター所長

委員がおっしゃるとおりで、今年度はコロナの状況を踏まえ、オンラインやZoomを活用した研修が増えたのですが、現場の校長先生方や参加される先生方にご意見を伺うと、やはり学校を離れずにオンデマンドで自分の学びたい時間に、何度でも受講できるということで非常に好評でしたので、コロナが収束してもそうした研修方式を織り交ぜていく予定で準備を進めています。

櫻吉委員

われわれも学会がオンラインになって、今年は直接参加することがなかったのですが、教育研修講演の参加者が1.5倍ぐらいになり、聴いてくれる人が増えるという効果があったので、今後も続けていった方がいいと思います。

熊谷学校教育センター所長

来年度、特に教科の研修については、オンデマンドやライブ配信で実施したいと考えていますので、たくさんの先生方に参加してもらいたいと考えています。

田邊委員

デジタル共有サイト「ミライシード・ラボ」は、学校教育センターに置かれているシステムなのでしょう。それとも、全国共通あるいは学校共有のものなのでしょう。それから、今年度はそのサイトで動画などをストックできたわけですが、年度を越えて共有するような内容であれば、複数年使うことが可能かなと思いました。年度をまたがってコンテンツを活用できる可能性はありますか。

熊谷学校教育センター所長

「ミライシード・ラボ」は主に教員が使うサイトなのですが、他の自治体でも使っています。金沢市は学校教育センターだけでなく、学校指導課など教育委員会全体で使っており、金沢市の先生が各々アクセスできるようなものになっています。そこに指導案であったり、校内で学習できる動画であったり、文部科学省のGIGAスクール構想に関する動画といったものを共有していて、イメージとしてはコンテンツを継続的に増やしていくような形になります。今回、教職員研修で収録したものに関しては、

	一定期間を設けてその期間内にオンデマンドで先生方に見ていただいた後、削除するものもあります。
田邊委員	つくばにある教職員支援機構もそういう形での全国展開を心掛けているでしょうから、今回のコロナ禍を機にネットワーク環境などもかなり整備されるのではないかと思います。限られた人だけではなくて、幅広く活用できるような方向になればいいと思います。
熊谷学校教育センター所長	先生方が効果的に活用できるよう、今後も研修の充実を図りたいと思います。
長澤委員	教員1人に1台ずつ端末があれば、どの教員が過去にどの講座を視聴したかというのが記録として残ると思います。例えば、採用から11年目の中堅教諭に対する研修であれば、11年目の先生にアラームが出て、「あなたは今年、これを受講しなければなりませんよ」という形で、きちんと管理できているのですが、そういう仕組みは現在あるのか、今後そういう仕組みを作る予定はあるのか、お聞きしたいです。
熊谷学校教育センター所長	現在はまだそこまでの仕組みはありませんが、いずれは先生方が受けた研修の履歴が、例えば自分の名前をシステムに入力したら出てくるような仕組みを構築できないか検討したいと思います。
長澤委員	先生側の意識としても、興味があるから受けたというのではなく、教員としての自分の立ち位置を理解した上で、何が必要なかを自らきちんと選んで、それをちゃんと受けているかどうかを検証できるようなものであるべきだと思いますので、まずは仕組みを作っていくことと並行させて、教員の方々にもそういう意識的なところもお伝えいただければと思います。
熊谷学校教育センター所長	今までは紙媒体で研修の振り返りをきちんとまとめて、それを学校に戻ってきちんとファイリングしていたのですが、それがネットワーク上でできるように、自分の課題が何なのか、どんなことを学んだのかということ振り返られる仕組みについて、今後研究してまいりたいと思います。

○ 議案第3号 金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（歴史都市推進課）

（説明の概要）議案書5ページ。昨年12月23日に審議会への諮問についてご審議いただいた、卯辰山麓地区における伝統的建造物の追加に伴う計画変更について、去る1月15日に開催された金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会にお諮りしたところ、諮問案のとおり了承した旨、答申を受けたので、本日お諮りする。

別冊資料1ページ。計画の変更内容は、金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の別表第1に、伝統的建造物（建築物）2件、2棟を追加するものである。3ページに建物の概要を示した。今回お諮りする2棟の建築物を計画に追加すると、卯辰山麓地区における伝統的建造物（建築物）の件数は、現在の246件から248件となる。伝統的建造物（工作物）については、従前どおり45件、環境物件も従前どおり13件となる。

木村委員	今現在も人が住んでいらっしゃるのですか。
石浦歴史都市推進課長	これまで空き家だったのですが、新たな所有者がこれからの活用を計画中です。

○ 報告第4号 金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果（令和2年度10月～12月分）
について（学校職員課）

（説明の概要）議案書25ページ。前回の4～9月の集計結果も加えた報告となる。

「1 対象者数」「2 対象職種」は、4月30日現在のものである。

「3 時間外勤務時間の平均」。10～12月の1カ月当たりの時間外勤務時間は、小学校が46時間20分で昨年度同時期比1時間7分減少、中学校が59時間57分で昨年度同時期比1時間38分減少した。時間外勤務時間を勤務日と週休日・休日に分けると、勤務日は小学校で減少、中学校で増加、週休日・休日は小中学校ともに減少している。なお、4～12月および臨時休業期間を除いた6～12月においても、小中学校ともに昨年度同時期より減少している。

「4 時間外勤務時間の分布」。長時間の過重業務とされる月80時間を超える者の割合は、小学校は「100時間超」の0.3%と「80～100時間」の2.5%を加えた2.8%であり、昨年度同時期より2ポイント低くなっている。中学校は18.5%であり、昨年度同時期より6.4ポイント低くなった。この傾向は、平成29年度から続いている。なお、中長期的な目標である1カ月の時間外勤務時間45時間以下については、この表の0～45時間で見ると、4～12月で小学校が62.9%、中学校で50.0%と確実に増えている。

「5 教頭の時間外勤務時間」。10～12月において、小学校教頭は昨年度同時期より減少し、中学校教頭は昨年度同時期より増加した。

「6 10～12月の職種別・年齢別の集計」。(1) 職種別においては、小学校では昨年同時期と比べ「養護教諭」以外の職種が減少した。中学校では「教頭」「養護教諭」「事務職員」以外の職種が減少した。考えられる要因として、養護教諭は新型コロナウイルス感染症の予防対応、中学校の教頭、事務職員については高校入試業務等が増えたことが挙げられる。

(2) 年齢別においては、小中学校ともに「30歳以下」の教職員が多く、小学校では「61歳以上」の再任用教職員を除き、年代による差は比較的小さい。また、中学校については「41～50歳」が増えたが、これは高校入試業務のある3年の担任がこの年齢層に多くいることが一つの要因として考えられる。

金沢市立学校における教職員が本務に専念するための時間の確保に向けた取り組み方針の3年目もあと2カ月余りだが、教育委員会、学校、部活動の取組を着実にを行い、業務の効率化・平準化を進める。

木村委員

コロナで授業時数が非常に減って、それを取り戻すために普段よりハードだったのかなと思うのですが、時間外勤務時間が減っているのは皆さんの努力だろうと思っています。養護教諭の時間外勤務が増加したことについて、やはり絶対数が少ないからなのですか。

羽場学校職員課長

養護教諭の配置人数は教職員定数法によって決まっており、小学校では児童851人以上いる場合は2人、そうでない場合は1人、中学校の場合は生徒801人以上いる場合は2人、それ以外の場合は1人となっています。つまり、基本的には各学校に1人です。コロナ対応については養護教諭が中心になって行っていますが、消毒等については7月から学校サポーターを全校に配置し、負担軽減に努めています。

長澤委員

教頭の勤務時間がとても減っていて、大変努力されたのだろうと感じていますが、「5 教頭の時間外勤務時間」では、小学校は5時間30分減少していて、中学校は3時間28分で普通に増えているんですね。コロナでさまざまなイベントがなくなったことと教頭先生の勤務時間の多寡に関して何か関連性はあったのでしょうか。

羽場学校職員課長

確かに学校行事に関する対外的な対応は教頭が行うので、行事が中止に

なったことにより、多少負担は減ったと思います。

田邊委員

時間外勤務時間が減ってきている傾向は見て取れるので、学校や教育委員会での取り組みの成果が挙がっていると思います。ただ、今も課題はありますから、校務支援システムなどさまざまなツールを使ってさらに改善に努めてほしいと改めて思います。教頭に関しては、やはり時間外勤務時間が多いので、そこにターゲットを絞って職務内容を見直すなど、さらなる取り組みが必要だと思います。

また、年齢別で気になるのは、やはり若い先生方の時間外勤務時間が多いことです。さまざまな要因があると思いますが、これから教員を目指す人が敬遠しがちな傾向の一因だと思いますので、できるだけそのあたりも改善に向けて取り組んでいただければと思います。

羽場学校職員課長

私も12月の終わりごろ、学校に直接出掛けて一人ひとりと面談をしました。その中で共通して聞かれたのは、やはり時間外勤務時間の多い方はこだわりがあり、丁寧であるということです。教材研究をしても、「ここまでだったら子供たちがこう質問してきたときにどう答えようか」「だから、この資料も準備しておかなければいけない」といった丁寧さやこだわりが非常に強く、どこまで行えば今後の授業をきちんとできるのかというところに非常に不安を覚えているようです。そして中学校ではやはり部活動で、「明日も部活動をしたい」と言ったら応えてしまうというケースがあったので、その辺を少し意識改革というか、子供たちのニーズに応えながら、勤務時間も意識できるよう働きかけていきたいと思っています。

また、今年度新たに全校に導入した自動応答音声装置については、電話が鳴らず非常に業務に集中できるということで、学校から非常に高い評価を頂いております。

田邊委員

ぜひ今後も取り組みを積み重ねて改善していただければと思います。

○ 報告第5号 「金沢市宇宙教育推進計画2021」の策定について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書30ページ。宇宙開発が本格化していくこれからの時代を担う人材の育成を目的に、昨年7月に「金沢市宇宙教育推進懇話会」を設置し、その中で時代に応じた宇宙教育の在り方について議論を重ねてきた。この1月に懇話会から「金沢市宇宙教育推進に関する提言」を頂き、「金沢市宇宙教育推進計画2021」を策定した。

基本理念は、「宇宙の視座から未来を拓く 金沢のひと・まちづくり」とした。この基本理念の下、めざす姿は「未来を見つめ、宇宙への夢や希望を持ち挑戦する姿」「未来創造に向け、課題を設定し解決していく姿」「新しい価値を創造していく姿」の3点とした。

また、この計画における大きなテーマを二つ設定した。一つは「宇宙の学びを深め未来を創造する人材の育成」、もう一つは「広く市民が宇宙に興味を持てる環境づくり」である。このテーマの下、六つのMissionとしてさまざまな事業に取り組んでいくこととしている。

計画期間は令和3～12年度の10年間とし、必要に応じて見直す。

これまで昨年7月と10月の2回、懇話会を開催し、JAXAや国立天文台など宇宙関係の専門家や各界のアドバイザーからご意見を頂いた後、1月に懇話会から提出された提言を基に計画を取りまとめた。

宇宙教育推進計画の本編をお手元に配付した。ここでは計画の概要を説明する。基本理念の実現に向けた二つのテーマそれぞれに三つのMissionを設定し、具体的に取り組みたいと考えている。

テーマ1のMission1は、「多様な学習ニーズへ対応する学びの場の設定」とした。金沢宇宙塾に幼児コースの新設を検討するほか、中高生を対象にした企業見学や体験の実施、金沢大学との交流、「CubeSat」という超小型人工衛星の制作について市立工業高等学校とも連

携して取り組んでいきたい。

M i s s i o n 2は、「市民の学びの支援とボランティア活動の場の設定」とした。学びの成果の発表の場や活動の場を提供するほか、ボランティア活動への支援にも取り組む。具体的な取り組みの一例としては、星座を解説するなどして星の魅力を伝える「星のインタープリター制度」を創設したいと考えている。天体望遠鏡の使用方法やプラネタリウム解説など、ボランティアを対象とした養成講座を開設するなどして活動の場を提供する。

M i s s i o n 3は、「新しい価値創造へ向けての協働関係の構築」とした。特に、伝統文化と宇宙のコラボで新しい価値の創造に取り組む。宇宙に関連した商品開発の提案や金沢美術工芸大学と連携した宇宙作品展などを検討していきたい。また、人工衛星開発を通じた学びとして、市民の宇宙への興味関心を高めるため、人工衛星の開発や衛星データを利用した学びに挑戦する機会を創出していきたい。

テーマ2のM i s s i o n 4は、「市民に届く情報発信の充実」とした。最新の宇宙開発や天文情報を効果的に提供していきたいと考えており、動画配信やJAXA、国立天文台の最新情報の発信、SNSなどの活用を想定している。報道機関とも連携し、キゴ山からのライブ映像や気象予報士による星空情報の発信などにも取り組みたい。

M i s s i o n 5は、「天文分野の魅力発信と新たな学びの場の提供」とした。市民が参加しやすい場所での天体イベント、学校や公民館での宇宙や天文の学びの場を提供するもので、市街地での天体観望会、民間企業の専門家による出前授業のほか、学校と連携したサマースクールや公民館と連携した天体観望会といった学びの機会を提供していきたい。

M i s s i o n 6は、「情報化に対応した学習情報の提供と学習環境の整備」とした。キゴ山ふれあい研修センターにおける無線LAN環境の整備や、宇宙や天文学の最新情報を提供できるように天文学習棟の展示物のリニューアルに取り組むほか、学校における理科学習の支援として、リモートによる天文情報の提供や学習指導も行っていきたい。

来年度以降、この「金沢市宇宙教育推進計画2021」に基づいて、宇宙に関する科学的知見や体験を通して探究する意欲を喚起し、青少年の夢や希望を育むことができるよう、さまざまな施策に取り組んでいく。

田邊委員

テーマ1は関心のある人をもっと育てて高みを目指そうというテーマであり、テーマ2は裾野を広げる趣旨のテーマだと思います。とりわけ裾野を広げるということに関して、いろいろな取り組みがM i s s i o nとして例示されていますが、既にこれまでも取り組んでいたこともあるでしょうし、これから新たにに取り組むこともあると思います。例えば、Y o u T u b eなどの最近のデジタルツールを使って啓発することが幅広く網羅されているような気がしますが、Y o u T u b e配信や出前授業などは、これまでも取り組んでいたことをさらに補強していく事柄なのでしょうか。それとも、これまでなかったことを今回の計画の中に新たに盛り込んで、裾野を広げたり、高みを目指したりする取り組みなのでしょうか。

村田生涯学習課長

Y o u T u b eでの動画配信は既に取り組んでいることの一つであり、コンテンツをもっと増やしていきたいと考えています。また、出前授業は現在もキゴ山の職員が行っていますが、ここで想定している民間企業の専門家というのは、例えば宇宙関連の企業の方を講師としてお招きし、企業家の目線で授業をしてもらうのも面白いのではないかと考えています。また、リモートに関しては、子供たちに1人1台の端末が配備されますので、例えばキゴ山の教材を活用しながらリモートで授業や学習指導を行うようなことも工夫していきたいと思っています。

田邊委員

学校の中でも、機会があればぜひお願いしたいという申出もあるでしょうから、そうした機会を幅広く周知すればより充実すると思います。

櫻吉委員

10年間で非常にたくさんの取り組みを行う形になっていて素晴らしいと思うのですが、手を広げ過ぎているようにも思います。強弱を付けて、これは絶対に実施したいというものは、この中のどれに当たりますか。

村田生涯学習課長

本体の17ページに年次計画を記載しているのですが、令和3年度に全ての事業をスタートするわけではなく、先行してできるものから順次実施したいと考えています。例えば、Mission1の「Cube Sat」の開発プロジェクトでは超小型人工衛星の制作に取り組みますが、これについては、長期間をかけて取り組む内容となります。ですので、この計画に沿って全ての事業を一度に取り組むのではなく、順次進めていきたいと考えています。

櫻吉委員

全国的にも宇宙を前面に掲げて取り組んでいるところがあるのではないかと思います。金沢市として、他のところでは真似ができないような、トップを走るようなものがあるといいと思いました。

村田生涯学習課長

キゴ山にはプラネタリウム設備もありますし、プラネタリウムを見た後に外で生の星空を見ることがもできるので、勉強するには非常に恵まれた環境にあると思っています。こういった環境をフルに活用して、さまざまな取り組みを進めていきたいと思っています。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

(大島委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 4 号 金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員への委嘱について（歴史都市推進課）

金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について

金沢市伝統的建造物群保存地区保存条例第 10 条の規定により、下記のとおり金沢市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱します。

1 委員の委嘱

	氏 名	役 職 名	新再任の別
知識経験を有する者	荻谷 勇雅	元文化庁文化財鑑査官	再任
	川崎 寧史	金沢工業大学教授	再任
	鏑 隆弘	金沢美術工芸大学教授	再任
	道地 慶子	石川工業高等専門学校教授	新任
	山崎 幹泰	金沢工業大学教授	再任
	長谷川 孝徳	北陸大学教授	再任
	鏑 一郎	金沢商工会議所	再任
	松川 秀幸	石川県建築士会まちづくり委員会	再任
	林 桜子	金沢弁護士会 弁護士	再任
関係地域を代表する者	中村 驍	金沢東山・ひがしの町並みと文化を守る会	再任
	柄崎 隆司	主計町まちづくり協議会	再任
	清水 満	卯辰山麓地区まちづくり協議会	再任
	宮本 哲一	寺町台まちづくり協議会	再任
関係行政機関	山下 幸則	石川県教育委員会文化財課長	再任

2 理由

任期満了に伴う再任及び新任

3 任期

2021年3月1日から2023年2月28日まで

○ 議案第 5 号 令和 2 年度金沢市議会 3 月定例会議会提出予定案件について（教育総務課他）

審議結果についても非公開

以 上